

特殊堤による国道13号の流失防止・冠水防止対策

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要：山形県尾花沢市内の国道13号において、河川と隣接する道路で流失・冠水の危険性が高い場所に特殊堤を設置。令和6年7月25日からの大雨では、過去に冠水が生じた令和2年7月豪雨の1.6倍の雨量が生じたが、冠水を防止し交通を確保した。

対策名：55 渡河部の橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策<5か年加速化対策>【国土交通省】

- 実施主体：国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所
- 実施場所：山形県尾花沢市
- 事業概要：過去に冠水が生じた山形県尾花沢市内の国道13号において、河川と隣接する道路で流失・冠水の危険性が高い場所に特殊堤を設置。
- 事業費：1.5億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.5億円)
- 効果概要
 - ・ 効果を発揮した災害：令和6年7月25日からの大雨
 - ・ 効果：山形県尾花沢市内の国道13号では、令和2年7月豪雨により一部路面が冠水したが、5か年加速化対策として特殊堤設置工事を実施したところ、令和6年7月大雨では過去の災害以上の豪雨であったにもかかわらず、冠水を防止し交通を確保。

